

案件増加に対応するため、属人化解消を目指し、見積作成の自動化や受注案件管理の可視化を検討。業務の見える化を通じて、チームで支え合い課題を踏まえた先手対応ができる環境の実現に向けた計画を策定。

株式会社メディアスコープ				https://www.ms-ltd.co.jp/	
本社所在地	松江市北陵町51-3	資本金	5,150万円	事業概要	地域ブランディング、観光・イベント企画運営、プロモーション企画制作等を行うプロデューサー業
代表者名	中尾 禎仁	従業員数	21名		
設立年	2007年	業種	サービス業		

背景

- 一定のデジタル化は進んでいるが、蓄積されたデータが直接的な利益貢献に結びついておらず、情報の活用が課題となっている。
- 収支計算や業務管理などの事務作業に多くの時間を取られ、本来の企画業務に集中できる体制への移行が急務である。
- 商談段階における見積作成が属人化しており、算定根拠の明確化や品質の均質化が強く求められている。
- 地域全体を俯瞰できる高い課題解決スキルを習得し、持続可能な経営モデルを構築する必要がある。

計画の骨子

見積作成の標準化と自動化

- ▶ これまでのノウハウを凝縮した人件費単価表をデータ化し、概算見積を自動算出するアプリを構築することとした。
- ▶ 人の経験に頼らない迅速かつ均質な見積算出を実現し、算定根拠の明確化と提案品質の向上を図る計画を策定した。

受注案件管理の可視化と共有

- ▶ 約250件の全受注案件を俯瞰できる管理環境をスプレッドシート等で構築し、組織的な進捗把握を定着させることとした。
- ▶ 担当者の孤立を防ぐ「設計会議」を習慣化し、遅延の早期発見とチームによる補完体制を確立する計画を整理した。